

第 15 期日本学術会議会員

本会より推薦いたしました第 15 期日本学術会議会員候補者 2 名は、平成 3 年 7 月 22 日に任命されたのでご報告いたします。

増子 昇（東京大学生産技術研究所 教授）

佐伯 修（株神戸製鋼所 顧問役）

● 鉄鋼研究振興資金の募金結果と募金期間継続について ●

昨年来標記「鉄鋼研究振興資金」の募金をして参りました結果、5 月末日現在総額 5 億 4 350 万円に達しました。これは鉄鋼関係各社のご理解の賜と感謝申し上げます。

本会では、平成 4 年度から事業実施を予定し、鉄鋼研究振興資金選考委員会（委員長：北村卓夫・新日本製鉄副社長）を設け、事業目的である「大学における鉄鋼研究の活性化の支援、鉄鋼研究者の育成」のため、鉄鋼に係わる基礎・基盤的研究テーマの募集に入りました。平成 4 年 4 月から研究助成金の交付が可能なることから既に大学側研究者からは大きな反応と期待が寄せられています。

本会といたしましては、大学側研究者および鉄鋼関係各位の双方のご期待にお応えできますよう、全力を挙げて努力いたす所存であります。

つきましては、更に本資金の充実を図りたく募金期間を継続し新規または追加のお申込みを随時受け付けることといたしましたので、ご応募をお待ち申し上げます。

会議ダイジェスト**編集委員会****・第 4 回編集委員会**

開催日：7 月 19 日

出席者：佐野委員長、ほか 14 名。

1. 協会事業特別検討委員会で検討された編集委員会関連事項について報告された。

2. 第 122 回秋季講演大会に関し、総講演件数 (929)、プログラム作成作業の合理化について報告された。

3. 和文・欧文会誌分科会の本年 9 月以降の組織と運営方法について提案通り承認された。今後は実務担当の部門幹事からなる分科会と、主として査読を担当する専門委員の二重構成となり、全体会議数は年数回となる。

4. 編集委員会及び分科会委員の委嘱・解嘱案が報告され承認された。

5. 平成 3 年度俵・澤村論文賞選考結果が報告され承認された。

6. 「鉄と鋼」投稿論文の英文 Synopsis 校閲について今後和文会誌分科会で検討することとなった。

7. 「耐熱鋼の高温クリープ及びクリープ疲労損傷材のレプリカ法による非破壊的損傷量/寿命評価」の出版企画が承認された。

8. 大学におけるネットワーク利用について報告された。

・第 5 回和文会誌分科会

開催日：7 月 5 日

出席者：木原主査ほか、28 名。

1. 18 件の論文審査報告がなされ、掲載決定 9 件、照会后掲載可 4 件、その他 5 件であった。

2. 「鉄と鋼」第 77 年第 11 号 (11 月号) 「分析評価・解析」特集号の目次が報告された。

3. 解説等 4 件の執筆依頼を決定した。

・第 4 回欧文会誌分科会

開催日：6 月 27 日

出席者：菊池主査ほか、12 名。

1. ISIJ International, Vol. 31 (1991), No. 9 に Regular article 13 件の掲載を決定した。

2. 16 件の原稿につき審査報告がなされ、掲載可 4 件、照会后掲載可 2 件、修正依頼 9 件、返却 1 件であった。

3. 10 月から実施予定の会議開催形式について協議・検討が行われた。

・第 3 回俵論文賞選考小委員会

開催日：6 月 28 日

出席者：雀部小委員長ほか、20 名。

候補論文 22 件の二次評価投票結果をもとに、5 分野各上位 3 位を決定し、小委員会としては各分野の 1 位を論文賞

候補として編集委員会に推すこととした。

・第 3 回澤村論文賞選考小委員会

開催日：7 月 9 日

出席者：菊池小委員長ほか、9 名。

平成 3 年度澤村論文賞候補論文 10 件の第 2 次評価結果を基に、1 位から 5 位を決定し、編集委員会の審議に委ねることとした。選考小委員会としては、上位 3 位を受賞候補に推すことが決定した。

育成委員会**・育成委員会第 2 回準備会**

開催日：7 月 2 日

出席者：牛山委員長ほか、6 名。

育成委員会の活動方針ならびに委員会構成案がまとめられ、委員会として発足することが決定し、準備会を終了した。

研究委員会**・第 2 回研究委員会**

開催日：7 月 17 日

出席者：山口委員長ほか、18 名。

1. 前回議事録確認
2. 研究委員の構成について
3. 科研費研究分科会および金属関係学協会連絡委員について
4. 石原・浅田研究助成金交付について

5. 研究ネットワーク連合委員会への参加について

6. 各研究会運営委員会報告

1) 特定基礎研究会

2) 基礎研究会

3) 鉄鋼基礎共同研究会

7. その他

第 1 回金属間化合物共同研究会の報告

・第 4 回将来研究課題小委員会

開催日: 7 月 15 日

出席者: 徳田委員長ほか, 13 名.

1. 前回議事録確認
2. 将来研究課題の分類 (その 3) の説明と討議
3. JRCM 資料についての検討

・第 1 回科研費研究分科会

開催日: 7 月 17 日

出席者: 山口主査ほか, 5 名.

金属関係学協会連絡委員として, 次の 2 氏が選任された.

山口正治 京大工学部金属加工学科教授

徳田昌則 東北大選鉱製錬研究所教授

共同研究会

・第 64 回品質管理部会

開催日: 7 月 4, 5 日

開催地: 大同/知多

出席者: 萩原部会長ほか, 97 名.

1. 共通議題
「社内品質管理診断 (監査) の実態と問題点」

上記のテーマに関し, 14 件の発表および座長まとめの報告があった.

2. NDI 小委員会活動報告

3. アンケートまとめ報告および討論

「内部品質管理診断及び外部監査に関する実態調査のアンケート」

4. 特別講演

テーマ: 小棒自動探傷・自動疵取ラインの紹介

5. 工場見学

・鉄鋼分析部会 第 11 回析出物分析小委員会

開催日: 6 月 26 日

出席者: 松村委員長ほか, 14 名.

1. 研究発表

(1) 第 6 回共同実験 (炭化物, γ' 相,

Laves 相) 結果 5 件

2. 今後の進め方について

特定基礎研究会

・第 8 回応力下における腐食評価部会

開催日: 6 月 26 日

出席者: 辻川部会長ほか, 15 名.

(1) 部会シンポジウムについて

(2) 研究成果発表: 7 件

・第 1 回高純度 Fe-Cr 合金研究部会

開催日: 6 月 28 日

出席者: 谷野部会長ほか, 17 名.

1. 特定基礎研究会運営委員会報告
2. 研究用試料の準備状況について
3. 文献紹介

基礎研究会

・第 6 回極低炭素鋼板研究部会

開催日: 7 月 11 日

出席者: 佐久間部会長ほか, 33 名.

1. 研究発表
(1) 連続焼鈍冷延鋼板の治金的性質および極低炭素化および窒素化の効果
(2) 極低炭素 Ti 添加鋼板における Cu の析出に及ぼすひずみの影響
(3) Ti 添加極低炭素鋼の析出挙動および S, Ti 量および熱延加熱温度の影響
2. 分析サンプルの配付と分析試験の進め方について

・第 1 回炭酸ガス抑制製鉄研究部会 (仮称)

開催日: 7 月 1 日

出席者: 小宮山部会長ほか, 17 名.

1. 部会設立経緯の説明
2. 今後の進め方に関する討議
3. 次回部会における技術紹介の分担
技術的内容を以下の 6 項目に分けて, おのおの発表担当を決めた.

(1) 現行プロセス+石炭利用

(2) 天然ガス, バイオマス

(3) 太陽発電+H₂ 利用

(4) CO₂ 有効利用による総合的低減

(5) スクラップリサイクル

(6) ニューアイデア

4. 部会名称について

正規の名称を次のとおり決定した.

「鉄鋼業における炭酸ガス抑制対策研究部会」

鉄鋼基礎共同研究会

・第 5 回鉄鋼の表面高機能化部会

開催日: 7 月 8 日

出席者: 増子部会長ほか, 13 名.

(1) 各研究機関の研究方案報告

(2) スケジュールの検討

(3) 試験片作成, 評価試験の分担組合せの見直し

日本圧力容器研究会議

・第 7 回 JPVRC データ収集委員会

開催日: 7 月 6 日

出席者: 小林委員長ほか, 17 名.

1. 前回議事録確認
2. データシートのフォーマットの検討についての提案
3. データブック文献収集フォーマットの検討
4. 鉄鋼協会研究テーマ応募案討議
5. MPD ネットワークの PR

鉄鋼技術情報センター運営委員会

・第 5 回図書館小委員会

開催日: 7 月 3 日

出席者: 宮田小委員長ほか, 10 名.

1. 図書館小委員会の今後の検討課題と方法 (単行本, 数値データ集の収集範囲, レファレンスサービスの体制について検討し次回までに各小委員の意見を集約することになった.)
2. デポジットライブラリーの補完について (補完資料の収集, 保管, 管理, 広報について検討した.)
3. 学振資料のマイクロフィッシュについて (頒布の範囲の確認, 開始時期について検討した.)

・第 4 回情報管理研究部会

開催日: 6 月 26 日

開催地: 国立国会図書館

出席者: 梅田部会長ほか, 15 名.

国立国会図書館の見学を行った. 特に 1952 年に設立された科学技術資料室の綿密な見学をした.